



八尋 浩二

質問

久末ダムの目的と方向性を伺う

答弁

基本計画に基づき環境保全整備を進めていく

問

現在、西郷川からの取水が止まっている。久末ダム建設時に久末区・畦町区に対して結んだ水利に関する協定のとおり、水質保持および渇水時の水量の確保はできるのか伺う。

答

本木簡易水道の余剰水を有効活用できるように、関係団体などと協議を進めていく。

問

市の飲料水確保の役割を終えた久末ダムの今後のあり方や方向性を伺う。

答

都市計画道路網の見直しを行うことが重要である。その結果に基づき、都市計画道路整備に着手しなければならないと考えている。

問

人口増加による交通量の増加は渋滞をもたらしている。今後の道路整備について伺う。

▼今後の道路整備について

答

久末総合公園の指定管理区域を拡大し、自然豊かな環境を保全すること、憩いの場・癒しの場として活用したいと考えている。



上水道の役割を終えた久末ダム

質問

ふくつミニバスの広域連携の考えは

答弁

近隣自治体との意見交換を継続していきたい

問

古賀市は舞の里とＪＲ千鳥駅、宗像市は用山（大井ダム）と、市境までバスが運行されているが、結節点をつくる考えはないのか。

答

結節点・費用面など、双方が納得できる形で協議を進めていく。

問

運行経費が増加傾向だが、広告収入などの考えはないのか。また、運行時間の短縮が問題では。

答

ラッピングバス等は、来年度から考えていきたい。運行時間短縮については運転手の確保が難しく



中村 清隆

問

戸別受信機等の普及促進は。

答

国の情報難民プロジェクトを踏まえ、外国人等への防災に関する整備を考えていきたい。

問

7月7日土砂災害警戒情報が出ていなかった。何故、深夜に防災行政無線を鳴らしたのか。

答

古賀市、宗像市に出されていて、隣接地でもあることから災害対策本部で協議し、鳴らした。



福津市・宗像市・古賀市と広域連携を



下山 昭博

質問

コロナ禍における教育等の現状は

答弁

感染拡大リスクを防ぐ教育活動に努めている

問

コロナ禍における教育課程の充実にについて伺う。

答

教職員が三密にならないように配慮している。給食指導では最新の注意を払っている。消毒は、シールバー人材センターの協力のもとで毎日作業している。授業では、少人数編成して時数確保のために教員加配し、学級担任補助のためには学習指導員を配置し、きめ細かな指導対応をしている。

問

新設校建設に係る予算案の議案提出について伺う。



ふくとぴあを改修して中学校施設を提案

答

現在、施設検討は凍結になっている。早期予算化に向けて協議を重ねていく。

問

行革と施設の整理整頓をし、ふくとぴあを改修して中学校施設とすることを提案するが、見解は。

答

学校配置については、予算・安全面・工期・まちづくりの視点・持続可能性が重要な要素だと思っている。提案内容について、後ほど聞かせていただく。

【その他の質問】

・2025年問題を間近にして介護施設等の現状について



石田まなみ

質問

学校への端末導入は安心できるのか

答弁

サポート体制の検討とルール作りを進める

問

GIGAスクール構想の事業が進む中、児童・生徒の端末使用時の破損や故障への対処、インターネット利用時のトラブル、高速通信5Gの健康への不安があるが。

答

破損や修繕などの細かなルールは端末の導入までに取り決めていく。ネット上の不安については、フィルタリングを適用させ安心安全な学習環境を確保していく。使用制限やルール等については、教職員や児童・生徒、保護者の声をもとにしながら、誰にとってもわかりやすいものを作る。情報モラ

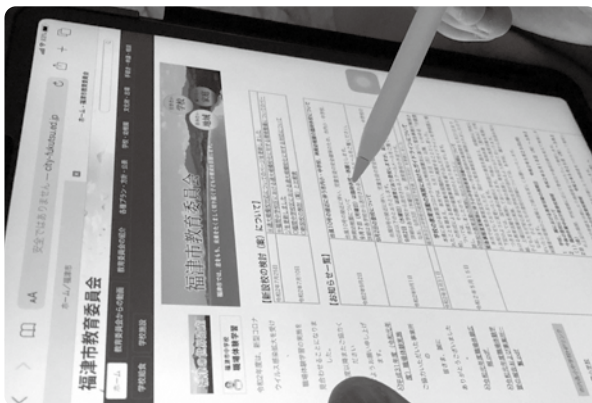
▼ふくとぴあについて

問

市民から出た意見はどのように生かしているのか。また、その結果は市民に説明しているのか。

答

一部ルートを民間に依頼するなど、意見を反映できるよう新路線を作成。対応できなかった部分は今後も丁寧に説明していきたい。



安心安全で効果的な端末の活用を



福井 崇郎

質問

コロナ禍での ICT活用方針は

答弁

福津市ICT活用指針
(仮称)を策定する

問

新しい生活様式を見据えたICTの活用方針や施策を推進する必要があると考えるが市の見解は。

答

新しい生活様式では身体的距離の確保、接触しないことが求められている。その実現のため、福津市ICT推進委員会を開催し、福津市ICT活用指針を策定する。具体的な施策として、市役所や公共施設におけるQRコード決済、税や保険料の支払いのためのスマホ決済対応、中央公民館等のインターネット予約を実施する。



デジタルファーストは市民ファースト

問

住民サービスの向上のためデジタル技術の普及及び、市のデジタル変革の可能性と今後は。

答

暮らしと地域経済を持続可能にする基盤づくりのためのデジタル変革が必要である。

様々な行政サービスを自宅にいても受けられるように、普及率が低い高齢者層にスマートフォンなどが身近になるように支援を行いたい。市民に積極的に活用してもらい、その恩恵を受けられるまちづくりを行いたいと考えている。

【その他の質問】

・市政運営の検証について

質問

コロナ禍における 学校教育について

答弁

感染予防対策を徹底し
教育活動と安全を考慮

問

今回の感染症は長期戦が予想される。学校現場では児童・生徒を守るために、どのような対策を行っているのか。

答

小・中学校では衛生管理マニュアルを基に、家庭での体調チェック、登校時の健康状態把握、授業前後・給食前・トイレ後の手洗いの徹底、マスク着用や消毒、換気を実施。また、三密を避けるためにトイレの時間をずらしたり、動線を示したりしている。さらに放課後は手すりやトイレ等の消毒を委託して行っている。感染者が出



中村 晶代

問

た場合は保健所の指導に従う。コロナ差別の防止には、他市の取り組みも参考に実施したい。

GIGAスクール構想の実現は学びの継続性につながる。進捗状況は。また、不登校児への対応は。

答

来年3月末までに各校への機器端末導入を目指している。ルール作りや各家庭のインターネット環境の整備などについても検討していく。不登校児などへの対応は今後の課題としたい。

【その他の質問】

・ひきこもり者の把握と支援策は



分散して廊下を通行



蒲生 守

質問

学校給食不足解消に向け予算措置を

答弁

どう対応するか重要な案件と認識している

問

児童・生徒数の増加により学校給食体制の見直しが必要と考えるが、将来予測はどうなっているのか。またどのように対応するのか。

答

市内に八つある給食調理施設だけでは給食をすべて賄えなくなっている。そのため、提供能力に余裕のある小学校から小学校へ配送する兄弟方式、小学校から中学校へ配送する親子方式の検討も行ったが、児童・生徒数増加で食数不足が確実となった。共同調理場の新設による食数の確保について検討をしている。



福津市学校給食共同調理場

問

給食の現状について調査・研究して12月議会には基本設計の予算計上をしっかりとっておかないと、市長選挙の関係で来年の6月まで予算計上ができなくなるが。

答

食数が足りなくなるとは絶対あつてはいけないので、これは緊急かつ最重要と受け止めている。教育委員会と詳細な議論を詰めるければならない案件であると認識している。

【その他の質問】

・公共施設の長寿命化を含めた現在の進捗状況と今後について



高山 賢二

質問

安定的かつ計画的な財政運営を

答弁

基金の効率的運用や財源調達手段を研究する

問

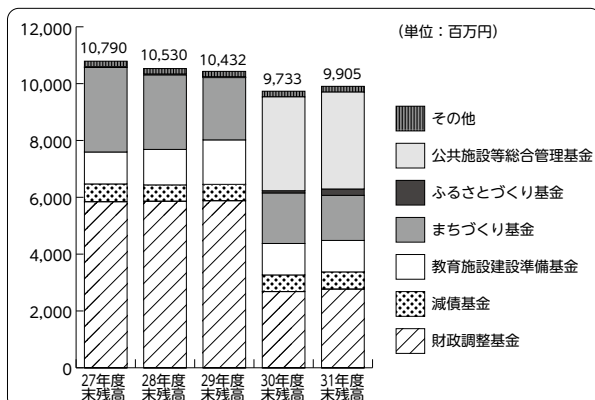
多様化する行政ニーズに的確に対応していくため、より一層の安定的かつ計画的な財政運営が求められる。自主財源の確保や既存の事業の見直しは。

答

政策事業を確実に実施するには、事業計画の変更や優先順位の見直し、維持管理費の縮減、既存事務事業の見直しなど、歳出面ではコストを削減し、歳入面では基金の効率的な運用や多様な財源調達手段の研究等で財源確保を図る。

問

コロナ禍の終わりが見えない中、



基金残高の推移 (普通会計)

答

自主財源を確保し、支援が必要なのは実施していく。

▼介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について

問

コロナ禍で実施された同調査の設問などは適切であったか。

答

戸惑いを覚える設問が含まれており、配慮が足りなかった。

【その他の質問】

・契約事務手続きについて

質問

小・中学校の現状 確認と対応策を

答弁

学校の課題を共有し、
解決に向け進めている

問

すべての小・中学校を訪問し、
現状を確認しているのか。

答

随時、職員や指導主事が各学校
の課題を踏まえて訪問し、情報共
有している。教育委員も定期訪問
や学校行事を通じて、すべての学
校に訪問して現状把握している。

問

海岸、大規模公園、公共施設、
県立高校のプールやグラウンドを
活用し体験型学習を増やせないか。

答

近所の公園の活用などは考えて
いる。体験学習は年間カリキュラ



通学区域の枠を超えて転入学できる
勝浦小(教育委員会HPより)

ムの範囲内で実施している。

問

学校選択制の導入や、特認校で
ある勝浦小の受け入れ人数を増や
すなど検討できないか。

答

現行制度の校区外申請の条件見
直しやスクールバスの活用につい
て調査・研究する。

問

教師や特別支援員、スクールソ
ーシャルワーカーやカウンセラー、
部活動指導員の増員は。

答

昨年度より特別支援員は5人増、
ソーシャルワーカーは時間を延長
し、人員配置の努力をしている。

質問

竹尾緑地の学校建 設案は白紙撤回を

答弁

教育委員会定例会で、
再度議論する

問

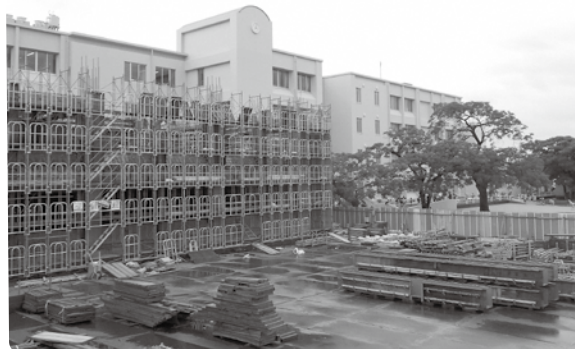
竹尾緑地案は、主に次の4つの
問題点があり、白紙撤回し他の候
補地をまじめに検討すべき。第一
は、年度単位の事務の自己点検評
価や30年後の長期的方針も示さな
い中での建設案であり、妥当性・
客観性の根拠がない。どうか。

答

事務の自己点検評価は速やかに
公表する。長期的方針は、新設校
方針を定めてつくる考えだ。

問

羅針盤のない新設校方針と言わ
ざるを得ない。第二は、文科省の
児童生徒一人あたりの運動場面積



増築で、ますます手狭に(福岡小)

答

国基準(適正規模)が基本だが、
地域実情は加味される理解だ。

問

国の基準は最低基準だ。問題点
の第三は、災害への安全性評価だ。
手光地区がA、竹尾緑地がB評価
だ。第四は、手順を無視した「5
・4制」導入は子どもたちの大き
な負担になる。白紙に戻すべき。

答

教育委員会でも再度議論する。



田中 純子



戸田 進一



尾島 武弘

質問

新設校手光案の運動場は狭小では

答弁

いざとなれば山を削れば運動場は広げられる

問

市長は総合教育会議で、手光案の良い点だけと竹尾案の問題点だけを記載した一方的な資料を配布した。その真意は。

答

手光案の良さが伝わっていないので、竹尾案の問題点と比較した。

問

今後、手光案の問題点や課題も教育懇話会や総合教育会議に出し、同じレベルで議論するのか。

答

公平中立な議論は重要と思う。

問

中央公民館の今後は協議したか。



市長提案手光案の建設予定地
中央公民館

答

学校を含め、協議はこれから。

問

手光案は1000人規模の学校だが、運動場面積は上西郷小と同レベル。福岡小や福岡南小のように時間差で使用させるのか。

答

いざとなれば山を削れば運動場は広げられる。2.8haの中で可能性は十分持っていると思う。

問

手光案では3年で小学校建設ができると思うが、可能なのか。

答

建設期間は現実的には厳しく、少し先走りすぎた3年という表記だった。

賛否表

結果	議案名	議員名																		議決
		福井 崇郎	森上 晋平	秦 浩	石田まなみ	八尋 浩二	田中 純子	中村 晶代	尾島 武弘	下山 昭博	高山 賢二	中村 清隆	蒲生 守	横山 良雄	戸田 進一	榎本 博	梶村 公彦	米山 信	江上 隆行	
認定	認定第2号 平成31年度(令和元年度)福津市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	議長は表決に参加しませんでした	
認定	認定第3号 平成31年度(令和元年度)福津市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○		
不採択	請願第2号 種苗法「改正」の取りやめを求める意見書提出に関する請願書	●	●	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●			
否決	発議第2号 種苗法改正の取りやめを求める意見書	●	●	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●			

○は賛成 ●は反対 ーは欠席

下記議案については全員賛成で承認・同意・可決・修正可決

承認第12号	専決処分した事件の承認について(令和2年度福津市一般会計補正予算(専決第1号))
同意第9~19号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
議案第35号	令和2年度福津市一般会計補正予算(第4号)について
議案第36号	令和2年度福津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について
議案第37号	令和2年度福津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)について
議案第38号	令和2年度福津市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について
議案第39号	令和2年度福津市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)について
議案第40号	福津市税条例を改正することについて
議案第41号	福津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例を改正することについて
議案第42号	福津市公園条例を改正することについて
議案第43号	財産の取得について
議案第44号	福津市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例を改正することについて
認定第1号	平成31年度(令和元年度)福津市一般会計決算の認定について
認定第4号	平成31年度(令和元年度)福津市介護保険事業特別会計決算の認定について
認定第5号	平成31年度(令和元年度)福津市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について
認定第6号	平成31年度(令和元年度)福津市公共下水道事業会計決算の認定について
発議第1号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

議会を傍聴してみませんか

次回定例会のお知らせ

11月24日(火) 開会
12月 7日(月) 閉会予定

日程等は変更になる場合があります。
また、新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴
人数を制限させていただく場合があります。
最新情報はこちらへ。



議会の動画を配信しています

本会議の様子をインターネットで生中継・録画配
信しています!録画中継は議会閉会后、概ね10日
以内に配信します。

※12月定例会からスマートフォン・タブレットで
も視聴できるようになる予定です。

議会にアクセスしよう!

福津市議会 中継 検索

今後の定例会の予定

3月定例会

令和3年 3月11日(木)開会

託児サービスがあります

傍聴希望日の5日前まで(土・日・祝日除く)
のお申し込みが必要です。託児料は300円です。
詳しくは、議会事務局(43-8144)にお尋ねく
ださい。お気軽にお越しください。

陳情・請願の受付締切

12月定例会の受付締切は、11月13日(金)正午です。その後の受付分は
3月定例会になります。



ふんちゃんを探せ!
ふんちゃんクイズ 答え

- ①オーロ君
- ②平成31年度(令和元年度)
- ③電子黒板機能付き液晶
プロジェクター
- ④コスモス(秋桜)

夏の終わり、古代の人々に思いを馳せ
ながら馬車に揺られた。表紙絵の作者、
繁澤さん母娘と私たち広報委員を乗せて
一生懸命に引いてくれたのはオーロ君。
想像していたより巨大な北海道生まれの
馬。安定感たっぷり太い脚。登り下り
の多い道を軽快な音を響かせて古墳を
巡っていく。優しく可愛い目。鼻をなで
ると柔らかい。馬車の中では、古墳クイ
ズとオーロ君秘話に笑顔満載。繁澤さんは
この日の情景を参考にタブレット端末を
駆使して描いてくれた。豊かな自然と人
物の表情が印象的な絵である。今秋は新
原・奴山古墳群一帯にコスモスが植えら
れた。古代の人々も笑顔だったろうかと
想像した。

(中村 晶代)

ざかいだより
福津市議会



作者 はんざわ 繁澤 遊子
住所 西福岡在住
職業 主婦

議会広報調査特別委員会

委員長	発行責任者
副委員長	
委員	
江上 生	田中 純
福井 上	森中 子
中山 昭	下村 博
隆守 行	崇平 郎
昭博 代	

議会だより表紙絵に市民の
作品を掲載するようになって5
回目の発行となりました。表紙
絵が多くの皆様の目にとまり
「議会だよりはどこにあります
か」との問い合わせが議会事務
局に寄せられています。そのお
陰でページをめくってくださる
方が増えてきたようです。
毎号の特集は、議会をできる
だけ分かり易いように情報発
信に工夫を凝らしています。今
回は、平成31年度市政運営の
指針の4つの柱をもとに決算報
告を見ていきました。今後も内
容充実に関心を入れていきます。
読まれた後のご意見・ご感想
をお寄せ願えれば幸いです。

(下山 昭博)

編集後記

